

各教科授業改善プロジェクト

# 授業改善研修会 国語



教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ



群馬県教育委員会事務局

# 0 はじめに

## 第4期 群馬県教育振興基本計画 群馬県教育ビジョン

計画期間：2024年4月～2029年3月



### 最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向け  
～ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成～

相談していいし、  
助けを求めても  
いいんだよ



「学ぶ」って  
楽しい



試行錯誤しよう。  
失敗してもいいのだと知ろう。  
それが自分を強くしてくれるよ。

「ナナメの関係」や  
「ゆるいつながり」も  
大事なんだよ



知らないことを  
知るの楽しいよ

リアルでも、  
デジタルでも  
色々なつながり方  
でいいよ



動き出してる  
仲間もいるよ

社会をつくるのも変えていくのも  
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰も、生まれついて自分と社会を  
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

### 現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っている自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要なのは、どんなものなのか？



2024年3月 群馬県教育委員会

エージェンシーを発揮する

## 「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」の実現に向けて～

幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます！

自分で学びを  
つくると  
楽しいね



知らないことを  
知るのほ  
うれしいよ

違う考えが  
あるから  
面白いね



失敗してもいい  
自分の言葉で  
話そう



社会をつくるのも  
変えていくのも  
誰かじゃなくて  
自分たちなんだ



学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が現れるといいです  
よね。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを  
発揮する自律した学習者になっていくことが大切です。

エージェンシー？カタカナで分かりにくいな。自律した  
学習者？また新しいことをしなければいけないの？

でも、実際は、こんな感じの子が多いな…



間違えているかもしれないから黙ってしよう。  
言われたことだけやればいいや。

エージェンシーとは、「人が誰も生まれついて持っている自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力」です。  
学ぶ内容は、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまでと変わりません。  
今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ることです。

一斉型の講義を受けるだけの  
受動的な学び

能動的で他者と協働した学び  
（主体的・対話的で深い学び）

（取り入れたい場面）

自己  
決定

対話  
交流

試行  
錯誤

子供たちの力を信じるということは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放  
任するという意味ではありません。問題を解決していく学びの中で、右に示した場面を  
意図的に取り入れていくことが大切です。詳しくは見開きをご覧ください。  
私たち教師もエージェンシーを発揮し、新しい物事に前向きに取り組み、チャレンジ  
する姿勢や、変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきましょう。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！



● 群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようと願う意志を原動力にして、爆発  
的に成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、  
試行錯誤しながら取り組んでいきましょう。



メッセージ  
動画はこちら

令和6年3月 群馬県教育委員会  
（エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット）

# 0 はじめに

## 教師の困り感

千代田町立西小学校



板倉町立板倉中学校



教師が「～させる」授業から児童生徒が「～する」授業へ転換したい。  
何をどこまで信じ、どのように任せたらよいのだろうか。

# 本日の内容

- 1 令和6年度学校教育の指針  
～国語科で特に現れてほしい子供の姿と重点～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために  
～本日の二つの授業を基に～

## 本日お伝えしたいこと

- 児童生徒が自走できる環境を整えた上で、児童生徒自ら言葉を問い直すことができるような働きかけを行いましょう。
- キーワードは「単元構想」です。

# 令和6年度 学校教育の指針（国語科）について

## 学校教育の指針

### 特に現れてほしい子供の姿

単元の課題解決に向けて、言葉に着目した吟味を重ねている



段落の要点と資料が示す情報に着目し、それら  
を関係付けながら、資料が用いられている効果  
について考えたことを問い直し、自分の考えを  
強めたり、新たな考えに至ったりしている姿



和歌に用いられている言葉に着目し、和歌につ  
いて調べたり想像したりしたことと関係付けなが  
ら、和歌に用いられている言葉や表現のよさにつ  
いて考えたことを問い直し、想像したことを深め  
たり、新たな言葉のよさに気付いたりしている姿

### 指導の重点

- 指導事項に基づいた必要感のある言語活動を、児童生徒と共有する。
- 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う。

## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景について

### 昨年度の取組

#### 各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

#### 国語

単元の課題解決に向けて、話や文章を理解したり表現したりしたことを、言葉や文、図表を根拠として挙げながら、**言葉に着目して吟味する**ための交流活動を設定しましょう。

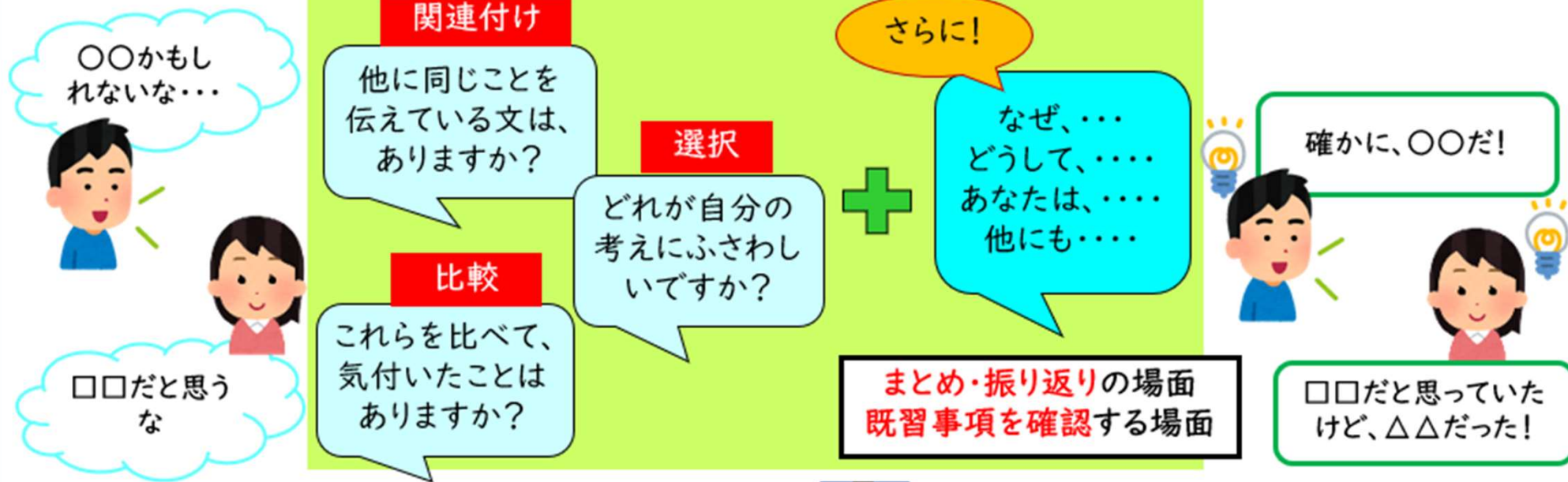
- 児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問と問い返しをする
- 全ての領域で、必要感のある言語活動を設定する

## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景について

### 昨年度の取組① 「児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問・問い返し」

一問一答で終わって  
いませんか？

表現された言葉の目的や意図をじっくり考えられるよう、  
「さらに深める発問」で吟味させましょう。



## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景について

### 昨年度の取組①「全ての領域における、必要感のある言語活動の設定」

#### 言語活動が具体化されることで

- 指導事項に示された**資質・能力**を育成するために**効果的**  
(身に付けさせたい力に合わせて思考・判断・表現する場面がある)
- 児童が言語活動に興味をもち、**主体的な学び**につながる  
(言語活動そのものがイメージしやすく見通しがもてる)
- スモールステップ**を踏むだけで授業が終わらない  
(目的に沿って試行錯誤しながら、児童自ら学習を進める)

▼「活動あって学びなし」に陥らない





## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景について

### 学校教育の指針

共通認識したいこと

**自分事化** 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
  - 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等）を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

### 特に現れてほしい子供の姿

#### R6 国語

○単元の課題解決に向けて、言葉に着目した吟味を重ねている

### 各教科等の指導の重点

- 指導事項に基づいた必要感のある言語活動を、**児童生徒と共有する**。
- 理解したり、表現したりした言葉に立ち返る**きっかけとなる**発問や問い返しを行う。

# 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景について

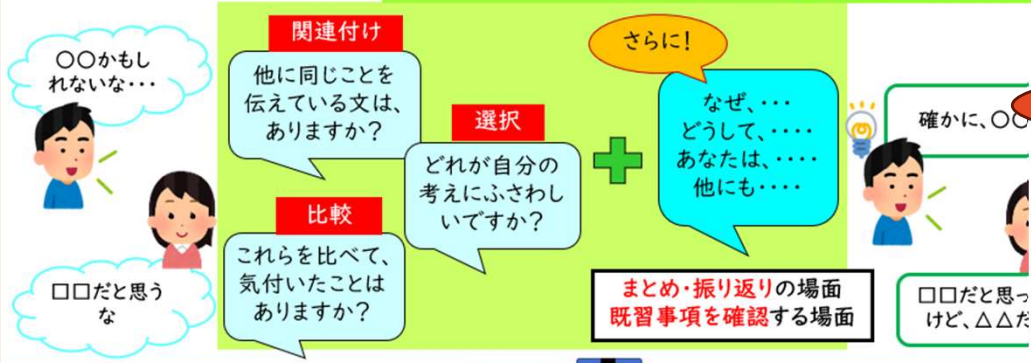
参考までに・・・

教師による

児童生徒が言葉に着目できる発問・問い返し

一問一答で終わっていませんか？

表現された言葉の目的や意図をじっくり考えられるよう、「さらに深める発問」で吟味させましょう。



まとめ・振り返りの場面  
既習事項を確認する場面

児童生徒自身が

授業改善のポイント

言葉と言葉のつながりを問い直す機会の設定

主たる指導事項に基づき、単元の課題を把握する

主たる指導事項に基づき、課題解決に向けた追究をする

A 話すこと・聞くこと			B 書くこと	C 読むこと
<話すこと>	<聞くこと>	<話し合うこと>		
話題の設定	話題の設定	話題の設定	題材の設定	構造と内容の把握
情報の収集	情報の収集	情報の収集	情報の収集	
内容の検討	構造と内容の把握	内容の検討	内容の検討	精査・解釈
構成の検討	精査・解釈	話し合いの進め方の検討	構成の検討	
考えの形成	話し合いの進め方の検討	話し合いの進め方の検討	考えの形成	考えの形成
表現	考えの形成	考えの形成	記述	
共有	共有	共有	推敲	共有

- 前の活動に戻り、言葉のつながりを問い直す
- 活動の最中に、言葉のつながりを問い直す
- 活動後に、言葉のつながりを問い直す

主たる指導事項に基づき、単元の学習を振り返る

自らの変容に気づき、国語の学びの価値を実感する機会としたい

令和5年度全国学力・学習状況調査を活用した授業改善説明会より

令和6年度全国学力・学習状況調査を活用した授業改善説明会より

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

#### 単元構想の視点から

- 指導事項に基づいた必要感のある言語活動を、児童生徒と共有する。
- 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う。

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点①

指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

「単元の課題」の考え方

【 A 】 をして(～ができるように)、  
【 B 】 をする。

A→(1) 主たる指導事項 身に付けさせたい資質・能力

B→(2) 言語活動 例を参考に児童生徒の実態に合った言語活動

〈例〉

- ・「事例を挙げて相手に分かりやすく伝わるように、学校生活の楽しさをスピーチしよう」
- ・「図表やグラフを効果的に使って、自分の考えを伝える環境ポスターを作ろう」
- ・「登場人物の設定や物語の展開の仕方に着目して、『やまなし』の魅力を伝え合おう」

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点①

指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

育成したい資質能力を明確にする

#### 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・言葉の働き
- ・漢字
- ・言葉遣い
- ・話し言葉と書き言葉
- ・語彙
- ・表現の技法
- ・文や文章
- ・音読、朗読

西小学校

(2) 情報の扱い方に関する事項

- ・情報と情報との関係
- ・情報の整理

(3) 我が国の言語文化に関する事項

- ・伝統的な言語文化
- ・書写
- ・言葉の由来や変化
- ・読書

板倉中学校

#### 思考力、判断力、表現力等

A 話すこと・聞くこと

- ・話題の設定、情報の収集、内容の検討
- ・構成の検討、考えの形成（話すこと）
- ・表現、共有（話すこと）
- ・構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）
- ・話合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）

西小学校

B 書くこと

- ・題材の設定、情報の収集、内容の検討
- ・構成の検討
- ・推敲
- ・考えの形成、記述
- ・共有

西小学校・板倉中学校

C 読むこと

- ・構造と内容の把握
- ・考えの形成
- ・精査・解釈
- ・共有

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

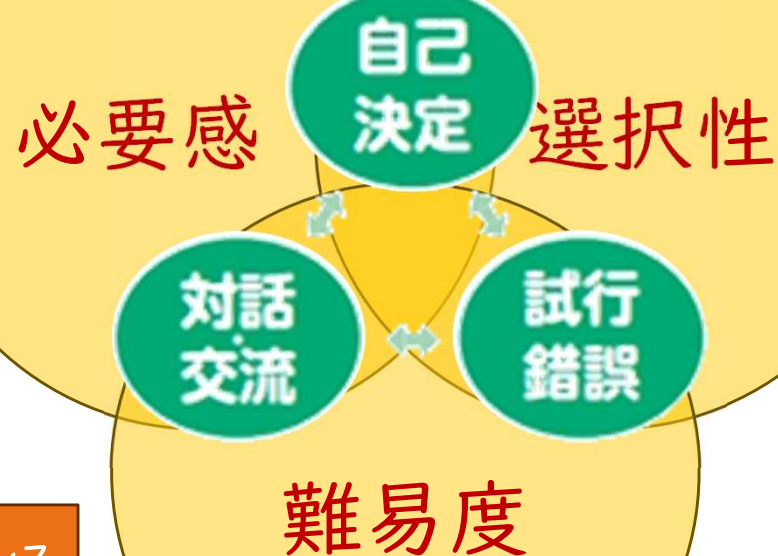
重点①

指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**  
児童が自走できる単元の課題を設定する

前向きな思い（おもしろそう、やってみたい、役に立ちそうなど）をもつ



既習と未習のバランス  
(難しそうだけどできるかもしれない)



解決方法  
表現方法等が  
複数存在する



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

#### 重点①

指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

#### 千代田町立西小学校

「固有種が教えてくれること」を読んで学んだ資料の効果的な用い方を生かして、東小の5年生に伝わりやすい文章を書こう。

#### 必要感

- ・総合的な学習の時間で学んだことを、東小学校の5年生に伝える。

#### 選択性

- ・「環境問題」という大枠の中で、個々に追究するテーマが異なる。
- ・個々に追究するテーマに合わせて、用いるべき適切な資料が異なる。

#### 難易度

- ・資料を用いた文章を書いた経験はあるが、資料を効果的に用いることに焦点を当て、資料と文章の結び付きを意識しながら文章を書いた経験は乏しい。

#### 板倉町立板倉中学校

和歌の時代にタイムスリップして和歌の作者にインタビューし、気に入った言葉や表現の仕方のよさについて記事にまとめよう。

#### 必要感

- ・作品の解釈は個々に異なることを前提として、それぞれが気に入った和歌を解釈したことを交流し合う。
- ・1000年前に生きた人と、言葉を介して対話する。

#### 選択性

- ・それぞれに気に入った和歌が異なる。
- ・それぞれに着目する言葉が異なる。
- ・それぞれに想像する情景が異なる。
- ・それぞれに調べ方が異なる。

#### 難易度

- ・短歌や俳句の情景を想像する学習は繰り返し経験してきているが、用いられている言葉や表現を評価するという経験は乏しい。



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点①

指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

言語活動との出会い方を工夫する

千代田町立西小学校

板倉町立板倉中学校

ゴールイメージの共有

東小の5年生に読んでもらう、環境問題についての文章を、資料を用いて書くのだな。

和歌を読んで感じたことを、インタビュー記事の形式でまとめて、友達と読み合うのだな。

東小の5年生は、僕たちの総合的な学習の時間の学習に興味を持っているのか。僕たちが学んでいることがうまく伝えられるといいな。

今までは100年前の人たちとの対話だったけれど、今度は1000年前の人たちとの対話か。1000年前の人たちはどんなことを考えていたのだろう。今までも友達とは感じたことが違っておもしろかったな。今回も友達の考えを聞いてみたいな。

相手や目的、  
場面や状況等の共有

単元の課題の設定、学習計画の作成へ

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点①

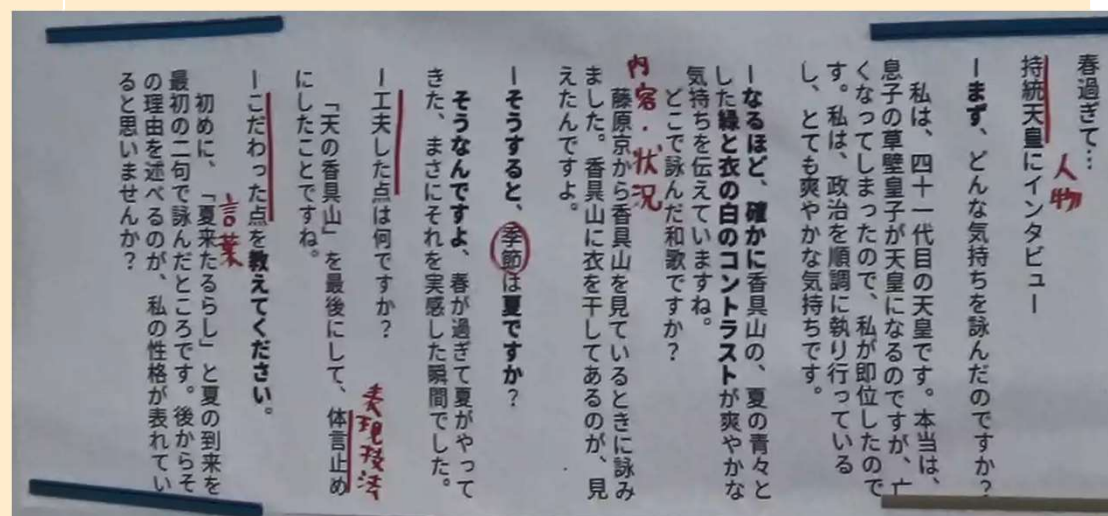
指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

言語活動との出会い方を工夫する

千代田町立西小学校



板倉町立板倉中学校



主たる指導事項に焦点化しやすいように作成したモデル文

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

#### 単元構想の視点から

- 指導事項に基づいた必要感のある言語活動を、児童生徒と共有する。
- 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う。

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項の場面で言葉に立ち返る

国語科の  
学習過程

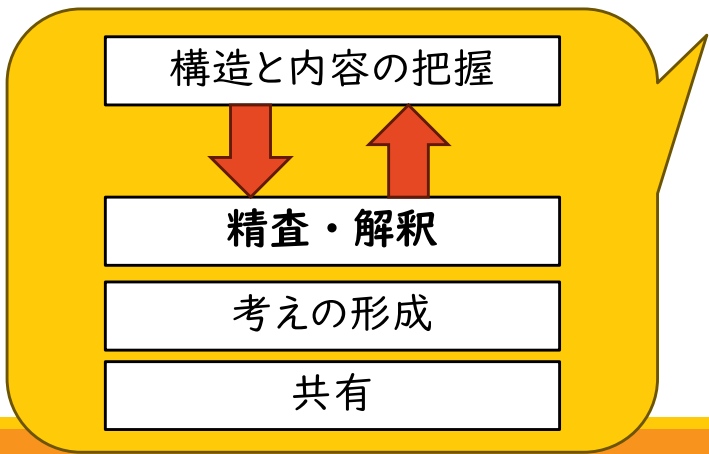
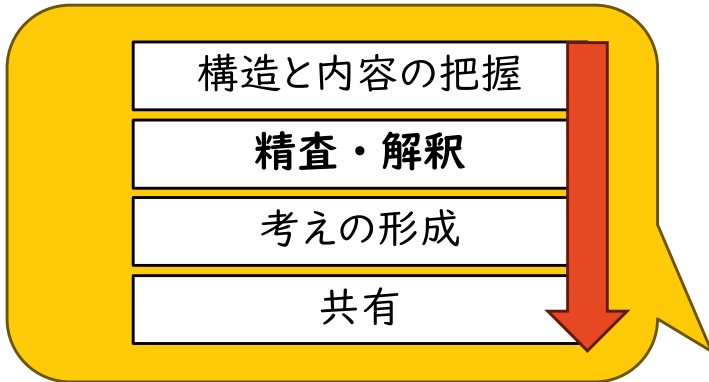
A話すこと・聞くこと			B書くこと	C読むこと
<話すこと>	<聞くこと>	<話し合うこと>		
話題の設定	話題の設定	話題の設定	題材の設定	構造と内容の把握
情報の収集	情報の収集	情報の収集	情報の収集	
内容の検討	構造と内容の把握	内容の検討	内容の検討	精査・解釈
構成の検討	精査・解釈	話し合いの進め方の検討	構成の検討	
考えの形成	考えの形成	考えの形成	考えの形成	考えの形成
表現			記述	
			推敲	
共有	共有	共有	共有	共有

※必ずしも一方向、  
順序性のある  
流れではない。

# 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項の場面で言葉に立ち返る



【単元の課題】  
〈必要感のある言語活動〉  
◇既習事項や実生活の体験等を想起しながらゴールの姿に向かうための大体の流れをつかむ。

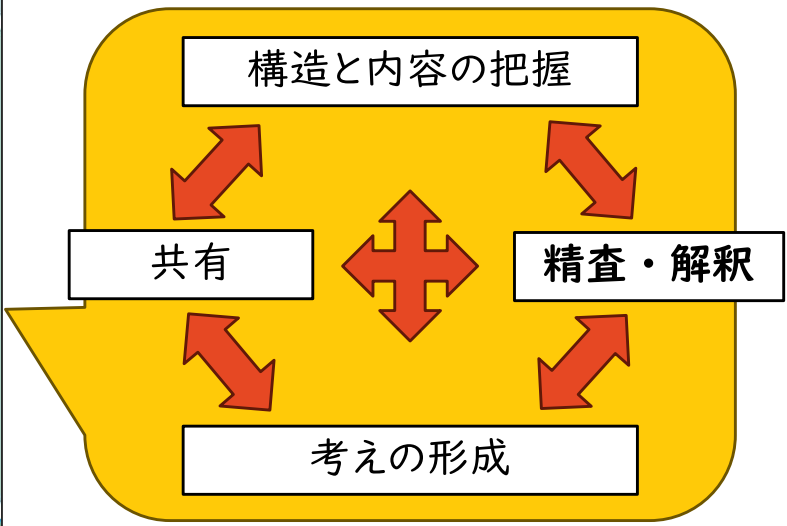
2 単元の課題の解決に向け、  
単位時間ごとに追究する。

単位時間  
【めあてをつかむ】  
◇各単元時間のめあてに対して、個で考える。  
◇ペアや少人数での交流活動を行い、互いの考えを伝え合う。  
◇学級全体で、各グループの交流活動で出された意見や考えについて確認し合い、新たな気付きをもつ。  
【まとめ・振り返りをする】

単位時間  
単位時間  
単位時間

3 単元の学習を振り返る。  
◇単元の課題について、学ぶ前と後との変容を自覚するとともに、今までの学習のポイントを学級全体で共有する。  
◇学んだことを、他の学習や日常生活でどのように活用できるかを考える（一般化）。

単元全体の振り返り



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

言葉による見方・考え方を働かせる

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること、また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味すること

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

言葉による見方・考え方を働かせている姿

千代田町立西小学校

段落の要点と資料が示す情報に着目し、それらに関係付けながら、資料が用いられている効果について考えたことを問い直し、自分の考えを強めたり、新たな考えに至ったりしている。



どの言葉と資料のどの部分がつながっているのかな。  
もし資料がなかったら何が伝わらなくなるのだろう。  
段落の内容と資料は合っているかな。  
この資料にはほかのよさはないかな。  
友達の言っている資料のよさは、文章のどの部分とつながっているのかな。

問い直し



資料を使うと、言葉だけの場合よりも伝えたいことが伝わりやすくなるのだな。  
資料の内容と、文章の言葉がきちんとつながっていることが大切だな。自分が資料を使うときには、伝えたいことが伝わりやすい資料の使い方を意識したいな。

振り返り

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

言葉による見方・考え方を働かせている姿

板倉町立板倉中学校

和歌に用いられている言葉に着目し、和歌について調べたり想像したりしたことと関係付けながら、和歌に用いられている言葉や表現のよさについて考えたことを問い直し、想像したことを深めたり、新たな言葉のよさに気付いたりしている。



問い直し  
どうしてこの言葉を使ったのだろう。  
この時代を考えると、この場面の状況はどんな様子かな。  
この言葉がもし別の言葉だったらどのように印象が違うのだろう。  
友達はこの言葉からこのような想像をしたのだろう。



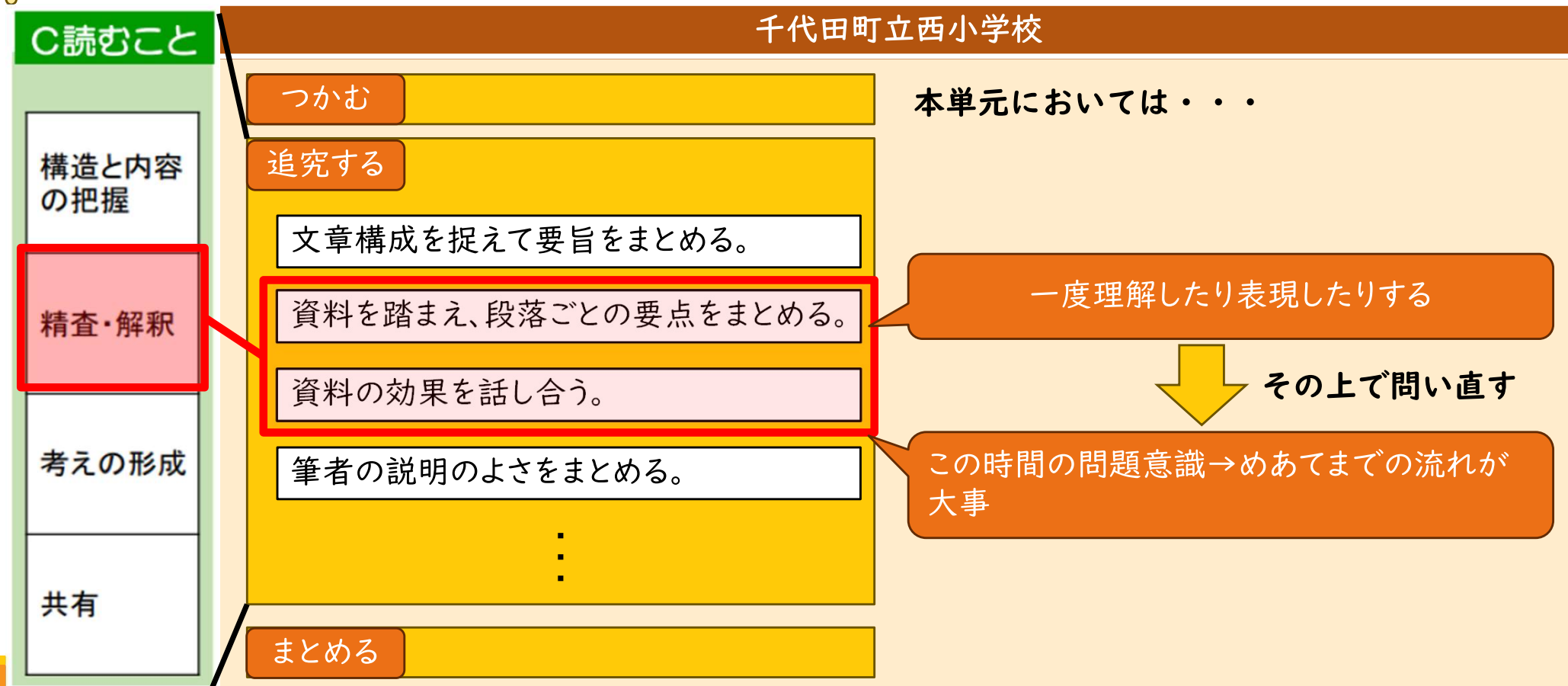
振り返り  
一つ言葉が違うだけで、伝わる印象が大きく変わるのだな。  
伝えたいことを表現するために、考えて言葉を選んでいるのだな。  
1000年前の人が感じていたことは、今の時代にも通じるものがあるな。



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのしかけ（間接的手立て）



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのしかけ（間接的手立て）

板倉町立板倉中学校

読むこと

構造と内容の把握

精査・解釈

考えの形成

共有

つかむ

追究する

和歌の内容を大まかに捉える。

気に入った和歌について調べたり想像したりしたことを聴き合う。

調べたり想像したりしたことを問い直す。

調べたり想像したりしたことをまとめる。

⋮

まとめる

本單元においては・・・

一度理解したり表現したりする

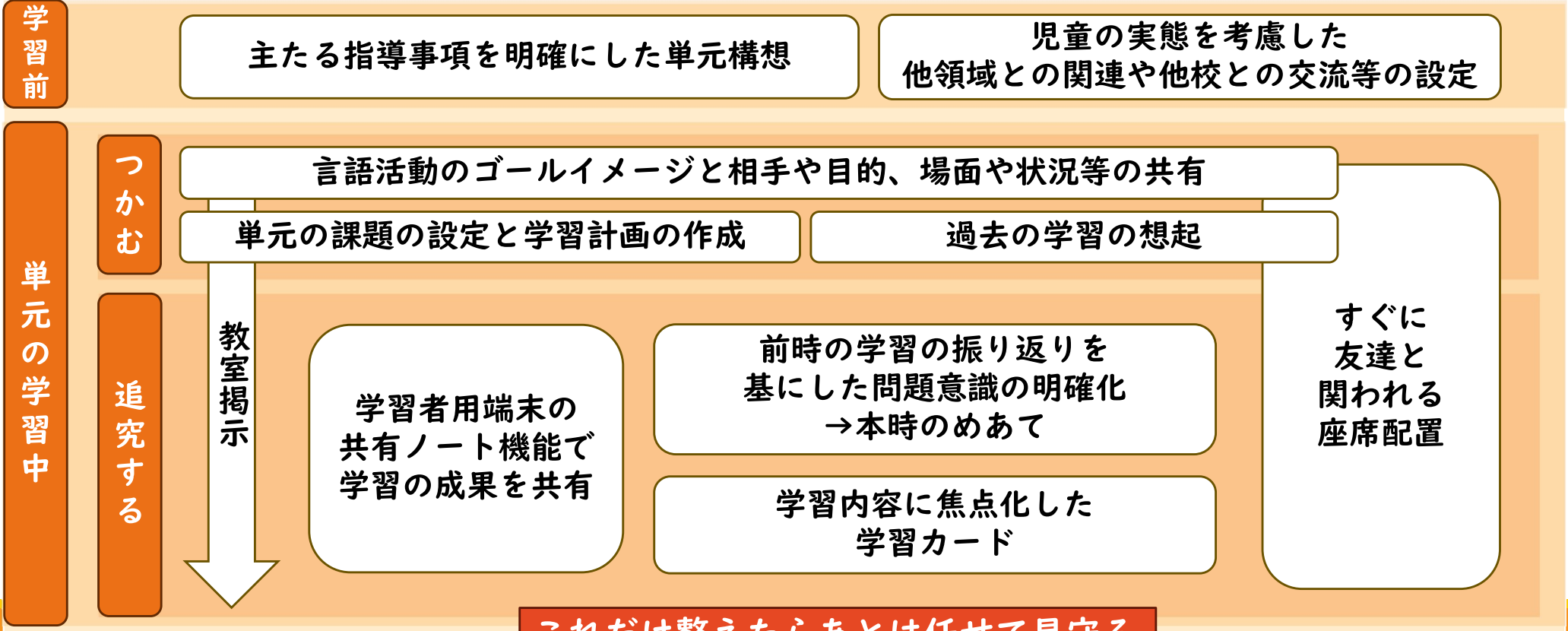
その上で問い直す

この時間の問題意識→めあてまでの流れが大事

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う  
主たる指導事項で言葉に立ち返るためのしかけ（間接的手立て）

千代田町立西小学校



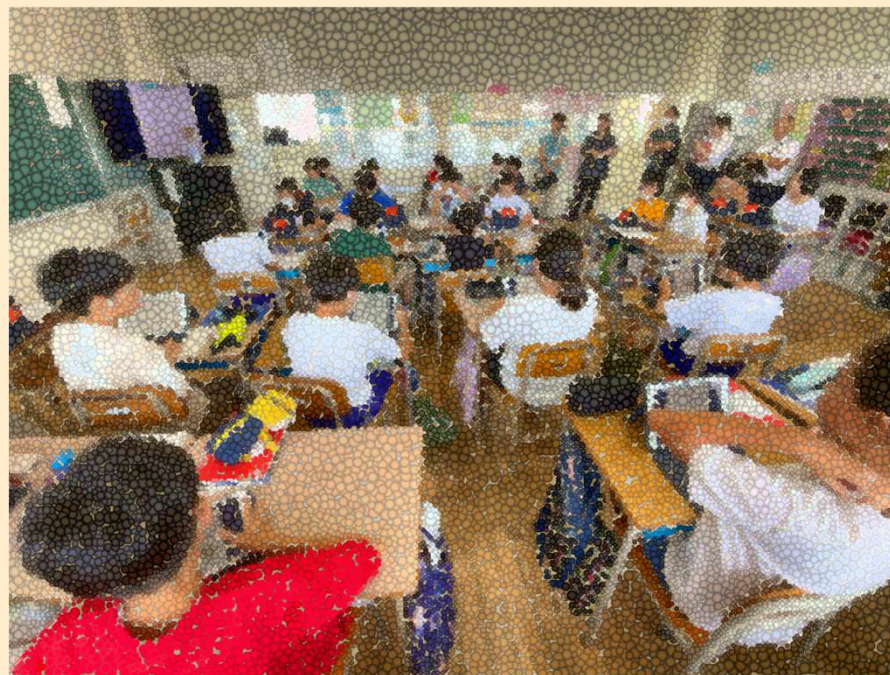
### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

焦点化した指導事項で言葉に立ち返るためのしかけ

千代田町立西小学校

すぐに友達と関われる座席配置



単元の課題  
固有種が教えてくれることを読んで、東小の子に  
資料を使って、分かりやすく根拠のある文章を  
書こう。

#### 学習計画

- ① 読んで内容を把握する。
- ② 資料の使い方について考える。
- ③ テーマに合った自分の考えをもつ。
- ④ 自分の考えに合った資料を探す。
- ⑤ 文章を書く。
- ⑥ クラスで交流。
- ⑦ 東小の子に見てもらう。
- ⑧ アドバイスをもとに直す。
- ⑨ もう一度見せる。

単元の課題の設定と学習計画の作成

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う  
主たる指導事項で言葉に立ち返るためのしかけ（間接的手立て）

板倉町立板倉中学校

学習前

主たる指導事項を明確にした単元構想

生徒の実態を考慮した  
1000年前の歌人と語らうという設定

単元の学習中

つかむ

言語活動のゴールイメージと相手や目的、場面や状況等の共有

単元の課題の設定と学習計画の作成

過去の学習の想起

追究する

教室掲示

学習者用端末の  
共有ノート機能で  
学習の成果を共有

前時の学習の振り返りを  
基にした問題意識の明確化  
→本時のめあて

問いリスト

資料集

学習内容に焦点化した学習カード

インターネット検索機能

必要に応じて  
すぐに  
友達と  
関われる  
学習環境

これだけ整えたらあとは任せて見守る



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのかわり（直接的手立て）

児童生徒の学習の様子をつぶさに観察する → 必要に応じて適切に発問や問い返しを行う

- ・活動が停滞しているな。
- ・活発に話し合っているけれど、言葉から離れているな。
- ・何をしてもよいかわからなさそうだな。

- ・元気がいいね。
- ・活発に話し合えているね。
- ・たくさん書けたね。もっと書けるかな。
- ・たくさん調べられたね。



理解したり、表現したりした言葉に立ち返る  
きっかけとなる発問や問い返しとは



### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのかかわり（直接的手立て）

#### 学習状況を整理するためのかかわり

- 単元の課題の解決状況を整理する
  - ・その考えは課題とどうつながりそう？
  - ・あと何ができれば解決しそう？
- 本時のめあての達成状況を整理する
  - ・今分かっていることは？
  - ・まだはっきりしていないことは？
  - ・何に困っていますか？
  - ・みんなで考えたいことはありますか？

#### 考えを問い直すきっかけを与えるためのかかわり

- 抽象と具体を行き来する機会をつくる
  - ・例えばどういうこと？具体的に言うと？
  - ・つまりどういうこと？一言で言うと？
- 根拠を問う
  - ・どの言葉（文、資料等）からそう考えたの？
  - ・どの部分に着目したの？
- 理由を問う
  - ・どうしてそう考えたの？
  - ・なぜそう言えるの？
- 比較を促す
  - ・二つの考えの似ているところは？
  - ・二人の読み方の違うところは？
- ゆさぶる
  - ・それって、本当にそうかな？
  - ・ほかの場面でも言えそう？



# 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのかかわり（直接的手立て）

## 学習状況を整理するためのかかわり

### ○単元の課題の解決状況を整理する

- ・その考えは課題とどうつながりそう？
- ・あと何ができれば解決しそう？

### ○本時のめあての達成状況を整理する

- ・今分かっていることは？
- ・まだはっきりしていないことは？
- ・何に困っていますか？
- ・みんなで考えたいことはありますか？

## 考えを問い直すきっかけを与えるためのかかわり

### ○抽象と具体を行き来する機会をつくる

- ・例えばどういうこと？具体的に言うとき？
- ・つまりどういうこと？一言で言うとき？

### ○根拠を問う

- ・どの言葉（文、資料等）からそう考えたの？
- ・どの部分に着目したの？

### ○理由を問う

- ・どうしてそう考えたの？
- ・なぜそう言えるの？

### ○比較を促す

- ・二つの考えの似ているところは？
- ・二人の読み方の違うところは？

### ○ゆさぶる

- ・それって、本当にそうかな？
- ・ほかの場面でも言えそう？



## ○関係をつなぐ

- ・〇〇さんも同じ部分について考えていたようだよ。
- ・あそこのグループは、同じ言葉でも違うことを考えているみたいだよ。考えを聴き合ってみたらどうかな。

## ○受け止める

- ・なるほど、そういうことが分かったんだね。
- ・よくそこまで考えられたね。

## ○支える

- ・もっと詳しく教えてくれる？
- ・うんうん、それから？

## ○考えをつなぐ

- ・〇〇さんは、どんなことに困っているのだと思う？
- ・〇〇さんはどうしてそう考えたのだと思う？

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

単元の振り返りの場面でも言葉に立ち返る

○読むこと

構造と内容の把握

精査・解釈

考えの形成

共有

千代田町立西小学校

「固有種が教えてくれること」を読んで学んだ資料の効果的な使い方を生かして、東小の5年生に伝わりやすい文章を書こう。

東小の5年生に読んでもらう文章の完成  
東小の5年生からのフィードバックを得る

資料を用いた文章を書くという言語活動にとって、「固有種が教えてくれること」を読んで学んだ資料の効果的な使い方がどのように役に立ったのかを振り返る。

板倉町立板倉中学校

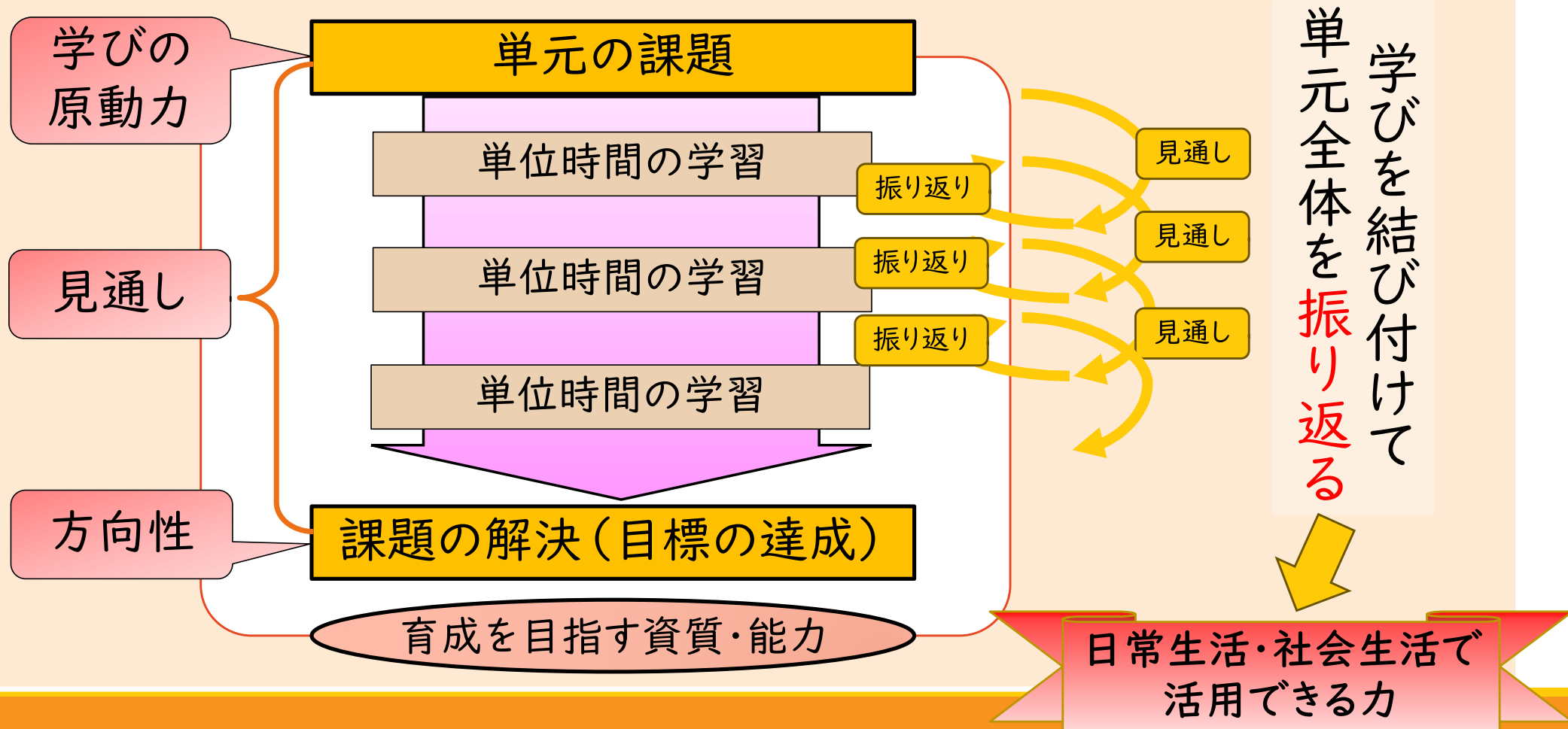
和歌の時代にタイムスリップして和歌の作者にインタビューし、気に入った言葉や表現の仕方のよさについて記事にまとめよう。

和歌の作者へのインタビュー記事の完成  
交流後、友達からのフィードバックを得る

インタビュー記事を書くという言語活動にとって、和歌の気に入った言葉についてよさや効果を考えたことがどのように役に立ったのかを振り返る。

### 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

単元全体のつながりを大切にする



# おわりに

本日お伝えしたかったこと

- 児童生徒が自走できる環境を整えた上で、児童生徒自ら言葉を問い直すことができるような働きかけを行いきましょう。
- キーワードは「単元構想」です。

## 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点① 指導事項に基づいた**必要感のある言語活動**を、**児童生徒と共有する**

言語活動との出会い方を工夫する

千代田町立西小学校

板倉町立板倉中学校

ゴールイメージの共有

東小の5年生に読んでもらう、環境問題についての文章を、資料を用いて書くのだな。

和歌を読んで感じたことを、インタビュー記事の形式でまとめて、友達と読み合うのだな。

東小の5年生は、僕たちの総合的な学習の時間の学習に興味を持っているのか。僕たちが学んでいることがうまく伝えられるといいな。

今までは100年前の人たちとの対話だったけれど、今度は1000年前の人たちとの対話か。1000年前の人たちはどんなことを考えていたのだろう。今までも友達とは感じたことが違っておもしろかったな。今回も友達のことを聞いてみたいな。

相手や目的、場面や状況等の共有

学習課題の設定、学習計画の作成へ

## 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」具現化のために

重点② 理解したり、表現したりした**言葉に立ち返るきっかけ**となる発問や問い返しを行う  
主たる指導事項で言葉に立ち返るためのかかわり（直接的な手立て）

学習状況を整理するためのかかわり

- 単元の課題の解決状況を整理する
  - ・その考えは課題とどうつながりそう？
  - ・あと何ができれば解決しそう？
- 本時のめあての達成状況を整理する
  - ・今分かっていることは？
  - ・まだはっきりしていないことは？
  - ・何に困っていますか？
  - ・みんなで考えたいことはありますか？

考えを問い直すきっかけを与えるためのかかわり

- 抽象と具体を行き来する機会をつくる
  - ・例えばどういうこと？具体的に言うのと？
  - ・つまりどういうこと？一言で言うのと？
- 根拠を問う
  - ・どの言葉（文、資料等）からそう考えたの？
  - ・どの部分に着目したの？
- 理由を問う
  - ・どうしてそう考えたの？
  - ・なぜそう言えるの？
- 比較を促す
  - ・二つの考えの似ているところは？
  - ・二人の読み方の違うところは？
- ゆさぶる
  - ・それって、本当にそうかな？
  - ・ほかの場面でも言えそう？